

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北関東)	良く なっている  やや良く なっている	-	-	-
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・気温低下に伴い、高単価商品である重衣料の動きが良くなっている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・3か月前に比べると、前年と同じぐらいの売上の推移になっている。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・11月に入り、気温も下がってきたことで秋冬物の衣料の動きが良くなった。しかし、お歳暮やおせち、クリスマスケーキの予約など、年末年始の商材は前年より更にスロースタートとなっている。
		スーパー（経営企画担当）	販売量の動き	・前月リニューアルした店舗が好調で、全社の数字を押し上げている。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・最高気温、最低気温共に前年を下回る日が続き、衣料では機能性肌着、ダウンジャケットの動きが良くなり、食品では鍋商材、塩麹鍋つゆなどの温かいメニューが好調に推移している。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・周辺に建築物などが増えてきているため、客単価が上がっている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・年末に向かって各種会合が増えている。市内の会合が増え、その帰り客の来店が多くなっている。
		旅行代理店（所長）	来客数の動き	・シーズンによる波動があるため、単月の状態での年間のピークシーズンとしては、東日本大震災前まで盛り返した。しかし、これから冬季シーズンに入り、下降線をたどるのは間違いない。
		設計事務所（経営者）	販売量の動き	・年末に向けて毎年忙しくなる時期だが、実施設計がいくつか重なり、忙しくなっている。
	住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・消費税増税の影響か、新築の住宅を準備する動きが活発化している。住宅を建築するには時間がかかることから、まずは底値のうちに土地を求め、準備を進める動きが出てきている。	
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・新規工場建設、大型スーパーの出店等が決定しており、建築部門は非常に好調に推移している。戸建住宅も先月と比べ、持ち直しつつある。	
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・中学生が受験で使う証明写真の撮影者数は前年と同数くらいである。しかし、前年は複数校受験の人が多く見られたが、今年は1校の人がほとんどのようである。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月は文化祭や地区の祭り、観光地への旅行等、行事が多く、盛り上がり良かったが、平日は反動で静かな日が多い。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・太陽光、リフォーム等は順調に進んでいるが、一般家電では核となる商品がほとんどなく、ウェイトは上がらない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・相変わらず、必要な物以外への消費動向は見えない。消費税増税の絡みがあり、建築業者の受注は多いとは聞くが、家電を含め、日常生活への出費は控えている様子がうかがえる。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・お歳暮商戦も宴たけなわになっている感じがしない。早期受注割引品もあまり売れず、商品を見ている客はいるが、決定の客が少なく、もらってから返しをする人が目立っている。また、生鮮関係で5千円以上の商品が今年は非常に少ない感じがする。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・気温の低下で衣料品が動き始め、それに伴い服飾雑貨や身の回り品が好調だが、お歳暮ギフト需要が大きく減退しておりトータルで見ると3か月前と比べても大差がない。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・気温が下がり、冬物衣料の動きが出てきたが、前年と比較しても大幅なプラスには至っていない。今まで、集客装置として機能してきた大型物産展に陰りが見えてきており、物産展を含めた食料品全般が厳しい状況である。
スーパー（店長）		単価の動き	・数か月間、単価の変化がない。	
スーパー（総務担当）		来客数の動き	・来客数は前年並みであり、景気の悪い日が続いている。	

	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・3か月前の夏に比べると、季節的にやや販売量が落ちているが、年賀はがきの販売や年賀状印刷等、冬の風物詩関連の商材がやや上向きのため、ある程度の実績を残している。
	コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・近隣に競合コンビニ店が、ここ1、2年の間に8店ほど開店し、また、大型店舗も安売りに非常に力を入れているため、売上が上がらない。
	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・エコカー補助金終了から、商談件数は相変わらず少ない状況であり、商談から契約までも以前より時間がかかっている。今の政治、また景気の不安定さを意識しているようである。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・エコカー補助金の反動減が、まだ続いている。
	住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・季節品の動きは10月後半から平年並みに回復したが、既存店の客数微減傾向は続き、平均販売単価の下落も継続している。
	その他専門店 [ガソリンスタンド]（従業員）	販売量の動き	・販売量は横ばいである。
	一般レストラン（経営者）	単価の動き	・平均客単価が1年前は約1,800円だったが、今は1,200円～1,300円で推移しており、客の金の使い方が非常に節約的になっている。
	スナック（経営者）	競争相手の様子	・とにかく人がいないのに店ばかりが多くなり、とても大変である。
	観光型ホテル（営業担当）	単価の動き	・客数は多少増加傾向であるが、ネット経由での安価なプランが売れているため、なかなか売上を上げるまでに至っていない。
	旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・販売量が少し落ち込んできている。
	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・募集型の旅行の集客が、3か月前と変わらずあまり良くない。団体貸切や小グループの旅行もあまり受注状況が伸びてこない。海外旅行においては、海外出張減や近隣諸国との諸問題もあり、相変わらず悪い。
	通信会社（局長）	お客様の様子	・当社新商品の投入等により、販売数量は増加傾向にあるが、客の様子を見る限りにおいて、景気の変化を感じさせる材料はない。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・年末の出費を想定し、消費自体は横ばいである。また、政治の先行き不安もあり、消費が伸びていない。
	遊園地（職員）	来客数の動き	・3か月前と比較すると、来客数の動きに大きな変化は見られない。
	ゴルフ場（業務担当）	単価の動き	・客は単価の動きに敏感で、なかなか売上が伴ってこない。
	競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購買単価共にそれほど変化が見られない。
	その他サービス [清掃]（所長）	それ以外	・近くのスーパーや量販店で買物等をする際、駐車場や店内を見渡しても、駐車台数、客数の大きな変化が見られない。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・来社しての新規の依頼や相談はもとより、電話での照会さえない状態である。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・3か月前と比べても、来客数は全く変化がない。イベントも開催したが成果が見られず、残念な結果に終わっている。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・大手スーパーでは、10月に寒くなり急に売上が増えたと言うが、一般路面店は、どんどん大型店に食われている。一向に客が来ない駅前通りの土曜日は、閑散としている。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・近ごろは、郊外の大型店へ客を大分取られてしまい、旧市街はほとんど客が来なくなった。客の流れが全く変わってしまっている。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・贈答需要が遅く、客単価が例年に比べ低い。
	一般小売店[青果]（店長）	来客数の動き	・限りなく客数、そして客単価も落ち、ここ最近毎日限られた同じ客だけの来店となっている。
	百貨店（販売担当）	来客数の動き	・11月は気温も下がり、冬物重衣料がようやく動き出したため売上は前年以上であるが、来客数がダウンしている。

スーパー（店長）	お客様の様子	・観光地を抱えている立地のため、ホテル、旅館関係への外国人、特に中国人の入りが悪くならないと当業界も良くならない。消費してくれる人が増えないと客数も増えず、売上も上がってこないため、とても厳しい。
コンビニ（経営者）	お客様の様子	・3か月前と比べると明らかに悪いが、前年比で見ると売上は98%、客数が102%である。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・長期間の出入口の道路工事のせいか、前年比5%減と低迷している。
コンビニ（店長）	お客様の様子	・古い紙幣や汚れた紙幣が大分入ってくるようになったことから、かなり厳しくなっているようである。
衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・今月中旬にチラシやDMにより販売促進を行い、何とか前年並みの売上は達成したが、セールを行わないとかなり厳しい。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・エコカー補助金の終了に伴い、販売量が減少してきている。1台当たりの収益が減少している。
乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・当社における車の販売台数は、このところ中古車に関してのみ順調に伸びている。伸びていると言っても横ばいだが、それ相応の台数が出ている。ただ、当社の客は観光地に勤めている人が多く、観光客は戻ってきてはいるが、風評被害がまだ少し残っており、年末ということもあって、2、3か月前と比べると、とにかく客がお金を使わなくなってきていると言っている。
乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・国内景気と雇用低迷に伴い、低所得者増などによる消費低迷が続いている。国内自動車業界は、低燃費車やハイブリット車向けエコカー補助金の影響により、9月までは順調に販売拡大していたが、その後は減税対象の車ばかりであり、所得低迷が続く状況下では、購買意欲は低下するのみである。国の景気回復施策が重要なポイントである。
住関連専門店（経営者）	お客様の様子	・買上点数、まとめ買いが減少しており、客は必要な物がなくなってからでないと購入しない。
高級レストラン（店長）	販売量の動き	・忘年会シーズンにもかかわらず、宴会予約が数件しかなく、単価、人数共に前年を大きく下回っている。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・前年同月と比較して、多少売上減ではあるが、来客数、単価共に心配するほどではない。
スナック（経営者）	来客数の動き	・ここ数か月間、以前よりもう一段階確実に悪くなっている。忘年会の予約も低調で、業態の転換を真剣に検討しなくてはならない状況になってきている。
都市型ホテル（支配人）	お客様の様子	・ビジネスの動きが相変わらず弱く、また、週末の行楽客、紅葉狩り等の客も例年より少なくなっている。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・当地域においては、非常に人の動きが少ない。総選挙も重なり、月末にかけては本当に閑散としている状況である。
都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・ビジネスホテルの動きだが、例年だと年末に向けて11、12月は、ホテルの稼働状況が大きく伸びるが、今年に限っては前年に比べても伸びていない。9、10月に比べると少しは上がったが、客室販売量の動きから、本来ならもっと伸びるところ、そこまで到っていないので、やや悪い。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・衆議院選挙の影響で、予約の取消しが発生している。
通信会社（経営者）	販売量の動き	・一般企業や商店からのパブリシティの注文はほぼ皆無であり、イベント等の広報が多少動くのみである。紙媒体の動きは非常に悪く、代わりに店舗を閉鎖する商店からのECサイト構築や、組合や団体からのHP制作などの依頼は動いているが、全体としては低迷中である。
通信会社（経営者）	単価の動き	・家庭用LPガス販売において、円安によって仕入価格が高騰しているためである。
通信会社（販売担当）	来客数の動き	・携帯電話業界は新型スマートフォンの影響で好調に見えているが、各社冬モデル新商品の集客が前年と比較して90%程度であり、12月のボーナス商戦も大手電機メーカーの業績不振で不安な状況である。
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・放射線物質による汚染問題からか、学生団体が大幅に減少している。
美容室（経営者）	お客様の様子	・秋の行楽シーズンにもかかわらず、節約する人が多くなっているため、入店客数が増えない。

		その他サービス [立体駐車場] (従業員)	販売量の動き	・販売量に関しては、回数券の売上が半減し、月ぎめに関しても今月は契約が0件という結果になっており、3か月前と比べても非常に悪くなっている。また、来客数に関しても、かなり悪くなっている。客はサービス券で出られる無料の時間帯を考慮して入庫と言っている。そのためやや悪くなる。
		設計事務所(所長)	来客数の動き	・政局の不安定さもあり、補助金絡みの計画は一時中止の状態になっている。
		住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・来客数が減少している。
悪く なっている		商店街(代表者)	来客数の動き	・街の人通りが極端に少なくなっている。街角の飲料の自動販売機が撤去されたり、コイン駐車場が閉鎖されたりしている。
		百貨店(店長) スーパー(経営者)	来客数の動き 競争相手の様子	・客数、単価、数量共に落ちている。 ・ディスカウント合戦が続く。
		衣料品専門店 (経営者)	販売量の動き	・商店街に人通りが全く見られない。
		衣料品専門店 (販売担当)	来客数の動き	・先月までは客も、波があっても出てきて買物をする様子が多かったが、今月に入ってから極端に少なくなりました。何が原因か分からないが、背景には総選挙や、急激に寒くなったことがあるのかもしれない。今月の後半は、幾分客が出てきたが、セール待ちのような雰囲気も見られ、買物までには至らず、本当に悪くなった。極端な悪さである。
		家電量販店(店長)	販売量の動き	・売上の柱である映像関連商品、とりわけテレビが不調続きで、前年比70%弱の実績にとどまっている。映像関連商品は全体の30%強の構成比があり、全体に対して約10%の落ち込みを出している。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・年末に向かうなかで総選挙が行われ、希望のある明るい総選挙にはなりそうもなく、国民の不安が一層募り、消費は今まで以上に鈍るのではないかと。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・夜6時から深夜2時までの客数は減っている。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・来客数が減っている。
		旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・今、総選挙モードに入っている。政治がなかなか進展しない状況で、なおかつ景気もかなり冷え込んでいるため、しばらく低迷傾向が続く。
		タクシー運転手	お客様の様子	・11月に入ってますます悪くなっている。1日の営業回数が10回ぐらいであり、売上が1~2割落ちている。特に深夜の客が少ない。
		タクシー(経営者)	お客様の様子	・不景気のため人の動きが悪く、前年同月比17%の減少である。
		その他レジャー施設[アミューズメント](職員)	お客様の様子	・深夜から明け方にかけて、特に4~5時以降になると、水商売の従業員が帰りに遊びに来るといったことがあったが、その人たちがほとんど来なくなり、その間の客が大幅に減少している。
		住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・相変わらず事務所、店舗等の引き合いはほとんどない。中古住宅で本当に安い物件等はちらほらあるが、新築住宅の引き合いはあまりなく、まだまだ不動産価格の下落が進み、デフレが進行している。
企業 動向 関連  (北関東)	良くなっている	その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量の動き	・従来の環境機器装置のビジネスモデルは引き続き好調である。また、今現在、500kw未満の発電を複数準備、計画中の太陽光発電の件で、締め切り認可があり、大変忙しく動いている。
	やや良くなっている	一般機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・長くは続かないと思うが、大口の注文が少し入ってきた。
	変わらない	出版・印刷・同 関連産業(営業 担当)	受注量や販売量の動き	・年賀状の時期になるが、件数が伸びない。前月と比べても横ばいである。
		窯業・土石製品 製造業(経営 者)	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に相変わらず低迷している。
		金属製品製造業 (経営者)	取引先の様子	・特装車両のコンクリートミキサー車に対しては復興需要が続いており、順調な受注量がある。産業機械のコンプレッサーはここ数年はやや減産傾向にあったが、落ち着いたようである。

	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車の動きが全く止まってしまった。おそらく中国向けの関係とエコカー補助金が打ち切られた関係で、在庫調整に進んでいるからである。他は季節の調整をすれば変わらない。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・1～9月中旬ごろまでが、まずまずの状況であったが、9月下旬～11月は取引先、競争相手も若干落ちているように感じる。
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・ようやく冬本来の寒さとなり、季節商材である暖房家電やインテリア類、衣料等の物量が動き出し、こたつ、加湿器、布団等の動きが増している。また、インターネット販売、ホームセンター向けの荷物が目立って増加している状況である。ただし、前年は東日本大震災で需要もあったため、前年比では少し下回っている状況である。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	それ以外	・今月のチラシ出稿量は101.4%となり、半年ぶりに前年を上回った。しかし、温泉旅館の営業担当者では、例年1泊の忘年会予約が入ってくる時期だが、ほとんどなく危機感を募らせている。
	司法書士	受注量や販売量の動き	・以前は11月ごろから仕事が増え始めたが、そういった時代は去ったようで、低いレベルで変わりなく続いている。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・特段の変化は見られない。
やや悪くなっている	食料品製造業（営業統括）	競争相手の様子	・先日、県内の老舗ワイナリーが過剰投資によってホテルへ売却されるニュースが流れ、世間を驚かせた。原因は売上減少によるものであり、各中小メーカーは海外ワインに押され、四苦八苦しているのが現状である。
	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・販売数が落ちている。
	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・東日本大震災の特需があり、仕事量も今のところある。12月の賞与の支給も問題なさそうであり、今年は久々の社内旅行も行った。
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・得意先の受注量が少なくなっているため、これからどうなるか全く不明である。
	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・油圧ショベル向けの仕事は引き続き低迷しており、好調だった他の分野に関しても、計画より下回る状況が出始めている。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・試作、作業量共に減ってきている。なり振りを構わず仕事を確保しているが、休業日も出だしている。
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・尖閣諸島問題による中国人旅行者の激減が、当地の観光業者に大きな影響を及ぼし、景況感を押し下げている。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・企業マインドの悪化が続いているほか、政策効果の剥落、日中関係の悪化による製造業の生産減少が見え始めている。
	金融業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・自動車関連では、国内市場のパイがなくなっているため争奪戦になっている。競合しているため、受注量及び受注単価が低下傾向にあり、利ざやが取れない。また、飲食業関係では消費単価が下がっており、来客状況も非常に悪くなっている。
	不動産業（経営者）	取引先の様子	・少子化の影響で、入学者、入学希望者が減少し、設備や備品類も古い物がそのまま使用され続けている。ビルの維持管理においても、最小限の清掃のみで何年も済ましている。
	不動産業（管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・建物管理に関して、今までは当社で修理して請求していたが、修理に必要な部品を現物支給するので、その分安くやって欲しいと依頼されることが増えた。やることは同じでも、当社の売上が減ることになる。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・広告宣伝予算が若干減っている。折込チラシの配布部数、エリアの縮小や、パンフレットの発注ロットの減少など、少しでも削減しようとする動きが多い。
	社会保険労務士	取引先の様子	・運送関連の事業所などで荷動きが悪くなってきており、物の動きが停滞し始めている。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・紅葉シーズンも短く、主な観光スポットには人出はあったようだが、消費に結びつくほどの盛り上がりはなく、他の製造業なども不振である。
悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・東日本大震災による特需が一段落し、新規受注が下降気味である。

		輸送用機械器具 製造業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・大手自動車メーカーからの3か月の生産見通しで は、直近の受注量とのかい離が非常に目立ってきてお り、発注量が下振れとなる。また、12月以降につい ても減産基調に入ってくるという連絡があるため、非常 に先行き不透明になってきている。
		その他製造業 [宝石・貴金 属]（経営者）	受注量や販売量 の動き	・卸売りが不調であり、問屋巡りをして仕入意欲が ない。卸の売上は大幅ダウンし、クリスマス用の商材 の需要も少ない。
		建設業（総務担 当）	それ以外	・公共工事主体で土木舗装工事を行っているが、決算 で売上高は前年比16%増である。しかし、工期延長に よる大幅な赤字の現場が発生したため、2期連続の赤 字決算となってしまった。厳しい状況が続いた2期決 算である。
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
(北関東)	やや良く なっている			
	変わらない	人材派遣会社 （経営者）	求職者数の動き	・大きい仕事の話はないが、小さい仕事については、 あちこちの会社から電話がある。
		人材派遣会社 （経営者）	求人数の動き	・住宅関連では、住宅着工が徐々に目立ってきてい るが、動きが見られる程度で、これから先が分らない ところである。ただ、自動車関連等の部品の動きが見 られた。また、年末に向けての衣料品、装飾品関係の 物品販売での募集傾向が多く見られる。
		人材派遣会社 （営業担当）	雇用形態の様子	・雇用形態は、派遣、契約から、パート、アルバイト に特化してきている。本来なら正規雇用の人が、非正 規で働いている。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・建設業の新規求人数は太陽光発電や、被災地の復興 関連求人が出始めており、前年比20%増となってい るが、求職者が希望する製造業は、長引く円高や日中 関係の悪化の影響から、前年比11.3%減と厳しい状 況となっている。
		学校[専門学 校]（副校長）	求人数の動き	・求人数が先月に比べ、増えてきているように感じ る。しかし、増え方が例年と比べると、さほど変わら ない。
	やや悪く なっている	人材派遣会社 （管理担当）	求人数の動き	・派遣の新規契約は0件で、契約終了は数件である。
		求人情報誌製作 会社（経営者）	周辺企業の様子	・景気低迷のなか、11月の周辺企業の求人は例年に比 べると大分減少している。
		新聞社[求人広 告]（担当者）	周辺企業の様子	・忘年会向けの広告も減少する傾向が続いている。
		職業安定所（職 員）	周辺企業の様子	・業績悪化のため事業停止に追い込まれ、自己破産申 請となる事業所などが前年同時期に比べて増えてきて おり、人員整理、削減のあおりで仕事を失い、ハロー ワーク窓口に駆け込む求職者が目立ってきている。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・家電量販店や介護福祉系の求人はあるが、全体的に 新規求人が少なくなっている。また、前月末で管 内大手企業のリストラで退職になった人の雇用保険手 続きは180人程度である。
	悪く なっている	-	-	-